

令和6年度

心と命のサポート事業(出前授業)

児童生徒に命の大切さを伝える講師を学校へ派遣します

いじめ等の問題に直面した当事者や命に関わる仕事等に携わる講師が、直接学校を訪問して出前授業を実施し、子どもたちに命の大切さや一人一人がかけがえのない存在であることを伝え、いじめや自殺等の未然防止を図ります。

人権学習
の講演

自殺予防
教育

性教育

デート
DV

いじめ
防止

生命尊重

事業の特徴

- 1 実績のある講師！ ➡ カウンセラー、医師、助産師、専門家 等
- 2 ニーズの高いテーマ！ ➡ いじめ防止、虐待防止、自殺予防、生命尊重 等
- 3 費用負担なし！ ➡ 講師への依頼と謝金・旅費の支払いは当課が行います

利用方法

◆申請できる学校： 県内公立の小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、
特別支援学校(岡山市立を除く)

◆講演対象： 在籍する児童、生徒(保護者向け、教職員研修は対象外です)

◆申込み方法： 申請書に実施希望日と希望講師等を記載して、メールで申込み ➡

◆申込み先： jinky-shidou@pref.okayama.lg.jp

◆応募締切り： 令和6年5月8日(水) ※締切り後でも、受け付けますのでご相談ください。

◆その他： 原則、各校1回

(特別支援学校は学部単位での申請2回を上限、昼・夜間部がある学校は各1回)



実施要項、申請書等

<問合せ先>

岡山県教育庁人権教育・生徒指導課 人権教育班

Tel : 086-226-7612 メール : jinky-shidou@pref.okayama.lg.jp



岡山県マスコット ももっちと仲間たち

令和6年度 心と命のサポート事業 講師紹介

<p>東森 二三子 【NPO法人ミントハウス】</p>	<p>東海林 みゆき 【生きテクサポート/Life is】</p>	<p>上村 茂仁 【ウィメンズクリニックかみむら】</p>
<p>助産師。 親から子へと紡がれていく命のつながりや家族の大切さ、生命誕生を通しての親の思い、命の大切さを話し、一人一人がかかけがえのない存在であることを伝えます。</p>	<p>助産師。 包括的性教育を20年行っています。小さな小さな受精卵から幾多の困難を乗り越えたあなたたちはすでに十分強く、人と比べる必要のない唯一無二の存在であるというメッセージを核とし、一度きりの人生をどう生きるのか、問題が起こった時には、自分だけでなく他者と共に幸せになるためにはどうすればよいのか、考える力、伝える力、行動に移すなどを育みます。</p>	<p>婦人科医。授かった命ではなく生きるために手にした命であることを伝えます。また、命の終わりは死であることから死についても語ります。親に虐待されている子どもやいじめにあっている被害者も含め、全ての子どものに伝わるメッセージを送ります。 ※講演実施は木曜・日曜・祝日</p>
<p>富岡 美佳 【岡山中央病院】</p>	<p>安田 和広 【公益財団法人 岡山県臓器バンク】</p>	<p>山下 明美 【CAPプロジェクトおかやま】</p>
<p>助産師・おかやまライフスキル研究会会長。生きる力「ライフスキル」について、ワークを交えて講演を行います。コミュニケーションスキル、対人関係スキル、ストレス対処スキルなどを学びます。また、誕生についてのシナリオ劇などを通して命について考える授業を実施します。</p>	<p>いのちのリレーである臓器移植医療を通して、臓器移植に係る4つの権利（「提供する」「提供しない」「移植を受ける」「移植を受けない」）や生命の大切さなど、自分自身の問題として受け止めるとともに、家族など他者の立場に立って考える授業を実施します。</p>	<p>子どもがいじめや虐待、誘拐等の様々な暴力から自分の身を守るための知識や方法をワークショップ形式で身に付ける学習を実施します。</p>
<p>おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ</p>	<p>岡山地方法務局・岡山県人権擁護委員連合会</p>	<p>社会福祉法人岡山いのちの電話協会</p>
<p>犯罪被害で子どもを亡くした遺族。命の大切さを訴える「命の授業」等の活動を広く展開しています。子どもの自尊心を育むことの大切さや、「子どもを被害者にも加害者にもしないために」といったメッセージを伝えています。</p>	<p>人権擁護委員が中心となって、いじめやデートDVについて考える機会を提供することにより、児童・生徒が相手への思いやりや命の大切さを実感できる取組を県下各地で実施しています。</p>	<p>岡山いのちの電話協会のスーパーバイザーが、「いのちの大切さ」「傾聴について」「思春期からのこころの健康」等をテーマにして、講演、ワークを実施します。</p>
<p>岡山弁護士会</p>	<p>小森 美登里 【NPO法人ジェントルハートプロジェクト】</p>	<p>高橋 聡美 【中央大学人文科学研究所】</p>
<p>子どもたちに個人を尊重する自由で公正な民主主義社会の担い手となってもらえるよう、法教育の視点から「いじめ予防授業」を実施します。 ※小学校5・6年生以上対象</p>	<p>元文部科学省いじめ問題アドバイザー。現在は滋賀県いじめ対策研究チーム会議の委員。 講演を聴いた一人一人が振り返りをし、心の存在に気付くことにより、予防へとつながります。</p>	<p>元防衛医科大学教授。 自殺予防教育で心の痛みの気付き方、SOSの出し方を授業で伝えています。</p>
<p>本郷 由美子 【グリーンパートナー歩み】</p>	<p>尾角 光美 【一般社団法人リヴオン】</p>	<p>公益財団法人 岡山県獣医師会</p>
<p>池田小学校事件の被害者遺族・阪神淡路大震災被災者。 命の重さ・大切さを伝える講演や授業を全国各地で行っています。講演は、「命の価値」「命の有限性」「生きる力」「共に生きる」4つの柱で内容を構成。生命の尊重の気付き、生きる喜びや「いのち」を実感することで、自他を大切にす心、思いやる心、生きるためのたくましい心の育成をねらいとしています。</p>	<p>リヴオン代表理事。 いのち（生と死）について改めて見つめ直し、自分のいのちや心の守り方を一緒に考える授業を提供しています。自身が母を亡くした体験や遺児たちのメッセージ（朗読）を聴くことで、今ある家族やいのちを実感できたという感想が多い。</p>	<p>動物を通し、児童が命の大切さを学ぶ。 スライドを使ってのお話30分～40分。連れて行けるモルモットがいれば、モルモットとのふれあい教室40分ぐらい。ふれあい教室では、心音聴取や抱っこ、えさやりで動物も同じ生き物であることを感じ、命を実感してもらうとともに思いやりの心を育みます。</p>
<p>新規 竹内 清文 【レインボーハートokinawa】</p>	<p>新規 中井 志穂 【岡山県精神科医療センター】</p>	<p>新規 鳥越 千裕 【デージーライフ】</p>
<p>男性同性愛者の当事者。LGBTQ・性の多様性をテーマに自分らしさや多様性尊重の大切さを伝え、一人ひとりの人権尊重の意識を高める講演を実施。講師体験談も交えながら男らしさ・女らしさではなく自分らしさの大切さを伝えています。講演内容に性やLGBTQという言葉や人権課題を含め、お互いの人権や命の大切さを考え、安心な学校や社会づくりのためにできることを考えます。※対面講演は10月～11月初旬のみ</p>	<p>精神科認定看護師。性暴力被害者対応看護師。子どもの心の健康や発達段階をふまえた自己理解・他者理解を通して、相手との境界線や自分も相手も大事にする方法を伝えます。また性暴力、デートDVなどの基本的な知識を伝え、加害者・被害者にもならないことを目標にした性教育や、もし被害に遭った時の適切な対応など、年齢や理解度に応じた予備知識を伝えます。</p>	<p>性教育アドバイザー・看護師。 命を守るには自分や他者の存在に対するポジティブなイメージ、正しい知識、大切なものに気付く力が必要と考えます。「性教育は最高のプレゼント」「楽しく学ぶ」をモットーに、自分自身や他者を大切に、自分らしく幸せに生きるための方法を命の誕生・多様な性・防犯・死生観など様々なテーマを通して生と死を身近に感じる授業を実施します。</p>

※ 講師についての詳細情報は、別紙「心と命のサポート事業講師一覧表」を御参照ください。